

【コラム】 JICA開発大学院連携 (JICA-DSP: JICA Development Studies Program)

放送大学学園との共同制作番組「日本の近代化を知る7章」

明治維新以降、豊かで民主的な国をつくり上げ、非西洋において初めて先進国となった日本。JICA開発大学院連携では、開発途上国の未来と発展を支えるリーダーとなる人材を日本に招き、欧米とは異なる日本の近代の開発経験と、戦後の援助実施国(ドナー)としての知見の両面を学ぶ機会を提供しています。

生涯学習支援チャンネルで放送中

JICA開発大学院連携を推進するために、JICAは2019年に放送大学学園と連携協力に関する協定を締結し、日本の近現代の歩みを学ぶコンテンツの共同制作を進めてきました。その一環として、「シリーズ・日本の近代化を知る7章」を制作し、2019年4月から放送大学の生涯学習支援チャンネル(BS 231「BSキャンパスex」)において放送を開始しました。

この番組は、幕末から明治以降の近代化、戦後の政治の歩みをカバーするもので、JICAの北岡理事長をはじめとする第一人者が講師となり、豊富な歴史資料を用いて日本の歩みを体系的に紹介しています。

日本の近代化の歴史を振り返り、ODAを展望する構成

第1章では明治維新の意義と近代国家建設の歩みを紹介し、第2章では戦前期における日本の政党政治の萌芽と盛衰を振り返ります。

続く第3章、第4章では、日本の敗戦と新たな出発となった戦後政治、経済環境の変化における日本的経営と経済発展について読み解きます。

第5章のテーマは教育です。戦後、日本を支えた人的資源開発の仕組みと特徴を概観します。

第6章では、中国などの東アジアや東南アジアの国々との関係を軸に、日本のこれ

までの立ち位置とこれから目指す方向性を考え、最後に第7章では、日本のODAについて事例を紹介しながらその哲学と政策、特徴についてとらえ直します。

2020年度からオンデマンドで視聴可能に

2020年度からは放送大学におけるインターネットを用いたオンライン授業として、JICA関係の留学生に学習の機会を提供していく予定です。日本について学ぶ外国人のためだけでなく、今後国際社会で活躍する日本人が、日本の経験や知見に関する英語表現を深めていくことも目指し、2020年以降もJICAと放送大学学園は続編の共同制作を進めていきます。

放送大学BS放送「日本の近代化を知る7章」概要

特徴

- 幕末から明治以降の近代化、戦後政治の歩みをカバー
- 当代一流の講師陣をラインナップにそろえ、わかりやすく紹介
- 言語は英語、テロップで日本語の字幕

講義内容・講師

- | | |
|-----|---|
| 第1章 | 「明治維新：日本近代化の原点」
JICA理事長 北岡伸一 |
| 第2章 | 「政党政治の盛衰」東京大学教授 五百旗頭 薫 |
| 第3章 | 「戦後日本の政治外交」
政策研究大学院大学学長 田中明彦 |
| 第4章 | 「経済成長と日本的経営」国際大学学長 伊丹敬之 |
| 第5章 | 「日本の近代化と教育」JICA理事 萱島信子 |
| 第6章 | 「『アジアと日本』から『アジアの中の日本』へ」
熊本県立大学理事長 白石 隆 |
| 第7章 | 「日本の国際協力」国際大学教授 加藤 宏 |

